

びんのイイ話

ガラスびんの知識

びんの製造工程

ガラスの知識



あまり知られていない、 びんのイイところ

5000年も前のエジプトで誕生！？ ガラスびんの魅力は奥が深いぞ

ガラスびんが誕生したのは、びっくりするほど昔のことです。5000年も前のエジプトで、砂を熱で溶かしてできたのが、最初と言われています。日本人の暮らしの中に登場し始めたのは明治時代で、当時はとても貴重でした。それほど長い歴史をもつガラスびんには、魅力がぎっしり詰まっています。

びんの中身はいろいろ すき通って見えるから安心

ジャム、ジュース、調味料、クスリなど、いろいろなものを入れて保存できるガラスびん。透明だから、中に何が入っているのか一目でわかって、安心です。



いろいろな形、いろいろな色 個性ゆたかなびんがいっぱい！

角ばったびん、丸みのあるびん、くぼみのあるびん、模様ที่刻み込まれたびん、緑びん・茶びん・青びんなど、個性ゆたかなびんがいっぱいあります。



おいしく感じるのは、 びんの持つ不思議な力

味もニオイもないガラスびんは、中身のおいしさが変わらない。やさしい手ざわりや口あたり、見た目の美しさ、そそぐ時のトクトクという音まで、おいしさを引き立てます。



天然素材でつくられるから、 人にも地球にもやさしい

ガラスびんの主な原料は、けい砂・石灰石・ソーダ灰と、あきびんをくだいたカレットです。人体に悪い影響をおよぼす素材は含んでいません。



魅力がいっぱいのガラスびんだけど、割れてしまうこともあります。大切にあってくださいね！